

# NPO 法人グラウンドワーク三島 グローバル講演会

## ネパール講話

### ～国際協力の最前線で考えていること～

近年のグローバリゼーションと技術の進歩は、過去に類を見ない経済的前進をもたらし、多くの人々の生活水準を改善するとともに、極度の貧困の中で暮らす人々の数を減少させました。日本も、いろいろな課題を抱えながらも、世界レベルの豊かさ、自由、そして平和な社会を享受しています。

しかし、こうした利益があらゆる人に行き渡っているわけではありません。格差は大きく、しかも拡大しています。世界で最も豊かな8人は、最も貧しい36億人と同じだけの富を持っているとする調査もあります。また気候変動や人口増加、急激な都市化や環境破壊、そして資源獲得競争の激化やグローバル企業の台頭は、特に途上国において緊張や不安を高めている現状があります。

アジア最貧国のひとつであるネパールは、100を超える多民族国家でもあります。1996年から10年に及ぶ内戦を経験しました。2006年に包括的和平合意が交わされた後、2008年にそれまで240年続いてきた王制を廃止して、共和制・連邦制とすることを決めました。2015年には新憲法が制定され、2017年に地方・州・連邦の3層で選挙が実施されました。また連邦制導入に係る国家規模の行政再編が行われ、「豊かなネパール、幸せなネパール人」を標語に新たな国づくりが進められているところです。

講師は、2018年4月より国際協力機構（JICA）企画調査員としてネパールに赴任し、連邦制下のガバナンスを担当しています。今回の講話では、ネパールの概要とJICAによるガバナンス支援の事例について、わかりやすくご紹介します。ざっくばらんな意見交換や質疑応答なども含めて、日本と世界とのつながりや、国際理解を深めていただく機会になればと願っています。

○日 時 令和元年 11月9日（土）16:00～17:45

○会 場 三島市民活動センター 第1会議室（三島本町タワー4階）

○講 師 松田 徳子（JICA 企画調査員（ガバナンス）、グラウンドワーク三島アドバイザー）

大阪外国語大学スペイン語学科卒業、マンチェスター大学大学院教育政策研究科修了（M. Ed）。JICA 教育政策アドバイザーとしてドミニカ共和国やガーナに赴任した。国内では、外務省で国際教育協力担当官、常葉大学教育学部非常勤講師、専門学校ノアデザインカレッジ教務部長なども務めた。また身近な環境保全と地域再生を進める NPO 法人グラウンドワーク三島で、内閣府「地域社会雇用創造事業」の事業部長を務めた後、現在はアドバイザー（プロボノ）として国際交流事業を支援している。現職は、JICA 企画調査員（ガバナンス）。ネパールに赴任中。

○演 題 「国際協力の最前線で考えていること」—ネパールやアフリカの経験を踏まえて—

○申 込 み 不要。会場に直接お越しください。入場は無料です。

○交 流 会 同日 18 時 30 分から「そば処・麦（三島市芝本町 6-24）」会費 3,000 円（当日受付）



【問合せ】NPO 法人グラウンドワーク三島 事務局

住所：〒411-0857 静岡県三島市芝本町 6-2（担当：事務局 美和）

電話：055-983-0136 Eメール：info@gwmishima.jp FAX：055-973-0022